

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		高齢者慶祝事業費 [金婚祝状贈呈事業]										
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	5	
事業の種別		☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☒ 廃止したもの										
担当部署・課長名		高齢介護			課			高齢福祉		係	課長名	伊野宮 崇
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		2 - 2		
【施策名】 高齢者福祉の推進								総合計画書(ページ)		51		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市の区域内に居住し、住民基本台帳に記録されており、婚姻届出50年を経過した夫婦。					対象者(婚姻届出50年を経過した夫婦)が毎年度どのくらいいるのか把握することは困難である。						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
祝状を贈呈し、金婚を祝うことにより、市民の高齢者に対する敬愛の精神と高齢者福祉について理解と関心を高め、高齢者自らの生活意欲の向上と生きがいの増進につなげる。					対象指標が不明なため、成果指標は活動指標と同数になる。							
→												
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
東大和市において金婚を迎えた夫婦を祝う。全部事項証明書(戸籍謄本)又は外国人の場合は婚姻届受理証明書を添えて申請する。月1回程度、大安や友引の日を選び、支給決定された夫婦に対し、祝状を窓口において支給する。					支給者数。この活動指標を増やすために、申請できる期間を2年度間とし、市報に年複数回掲載し、ホームページでも周知して、該当になる夫婦にはできる限り多く申請してもらうように積極的に事業展開をしている。							
→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標				
	対象指標	①の数値	組	—	—	—						
	成果指標	②の数値	組	49	38	55						
	目 標	②の目標値				38						
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)											
活動指標		③の数値	組	49	38	55						
3 経費	事業費(実績)		円	144,383	18,366	86,274	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	144,383	18,366	86,274						
		特定財源	円									
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	412,200	415,500	419,000						
	職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	556,583	433,866	505,274							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く											
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く											